

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

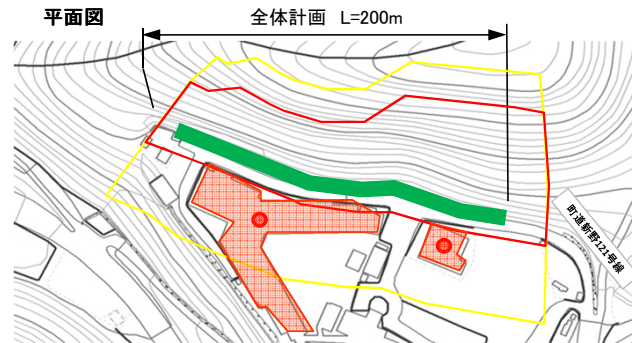
事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		(急)大村	
事業毎の通番		3		市町村名		阿南町	
事業目的		当箇所は、国道151号の上段に位置し、勾配34°、最大高さ42mの急斜面で、保全対象として要配慮者利用施設である特別養護老人ホーム及びグループホーム、町道が存在する。斜面は風化による侵食が進んでいることから、崩壊による施設利用者の人的被害の危険性が高まっている。このため早急に対策を実施する必要がある。		箇所名(ふりがな)		大村(おおむら)	
事業概要		しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等	
関連する事業、計画等						急傾斜地法	
保全対象・範囲 受益対象・範囲		保全対象:特別養護老人ホーム、グループホーム、町道新野121号線					
着手年度		平成28年度		事業期間		4年間	
完成年度(見込み)		平成31年度		費用対効果		5.9	
全体事業内容(主な工種)		擁壁工 L=200m		事業費(千円)		200,000	
年度事業内容(主な工種)		・地質調査 1式 ・地形測量 1式 ・詳細設計 1式		国庫		95,000	
				その他		10,000	
				県債		85,500	
				一般財源		9,500	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		施設整備による土砂災害特別警戒区域指定の解除			
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数:29戸(換算戸数) ○公共施設数:1施設 ○要配慮者利用施設の有無:有 ○避難場所、避難路の有無:無					評価
							A
重要性		○過去の災害履歴:無 ○交通遮断による地域経済への影響:中 ○地域防災計画上の位置づけ:無					評価
							B
効率性		○費用便益比(B/C):5.99 ○事業期間:4年間 ○工法等の比較検討:無					評価
							A
緊急性		○斜面の高さ:平均高さ40m Hmax42m ○斜面平均勾配:32° ○地質:崩積土 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形:無 ○植生:不良 ○保全対象の位置:がけ下2施設					評価
							A
計画熟度		○事業情報の共有:関係者以外にも周知 ○地域の取り組み:協力的である ○地域の合意形成:合意形成が図られている ○住民との協働:維持管理等に直接参加					評価
							A
部意見		保全対象に要配慮者利用施設が2棟ある。斜面は風化による侵食が進んでいることから、早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		評価結果	総合評価
						○	A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



平面図



【整備の必要性がわかる状況写真等】



法面状況

保全対象



●特別養護老人ホーム



●グループホーム

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	阿南町南部の新野地域の高台に位置し、がけ下に特別養護老人ホーム、グループホーム、デイサービスセンター等の福祉施設が集まった場所となっている。これらのうち特別養護老人ホームとグループホームの一部が土砂災害特別警戒区域内に入っている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	例年町から要望が挙げられている。
③事業説明等の経緯	平成25年3月土砂説明会開催。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 35° 16' 08"
東経:E 137° 45' 52"